

× 整理番号	
× 受理年月日	

液化石油ガス設備工事届書

平成 年 月 日

吉川松伏消防組合
管理者 様

氏名又は名称及び法人に
あつてはその代表者の氏名
住 所

印

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の3の規定により、次のとおり届出します。

工事に係る供給設備又は消費設備の所在地	
当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称	
当該設備の使用目的	
貯蔵設備の貯蔵能力	
工事の内容	

- (備考) 1 ×印の項は記載しないこと。
2 氏名(法人にあつてはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において署名は必ず本人が自署するものとする。

設備工事 (バルク貯槽) 届書 (別紙 1 - 1)

1 バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項

貯 蔵 能 力		kg (kg × 基)	
規則 19条	項 目	対 応 事 項	添 付 書 類
3号 イ	バルク貯槽の規格	地上式・地下埋設式 容積 _____ m ³ 材質 _____	製品仕様書及び明細図
3号 口	保 安 距 離	用途地域等 (工業専用地域・ 工業団地・ その他の地域) 第 1 種保安物件までの距離 _____ m 第 2 種保安物件までの距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 構造壁等の有無 _____ 有 ・ 無	設置場所付近配置図 (保安距離を示す) 構造壁等の配置図 構造図、施工時写真
3号 八	安 全 弁 及び安全弁元弁	試験合格品 ・ 大臣認定品 元弁をみだりに操作できない措置 規定吹出し量 W1 = _____ kg / h W2 = _____ kg / h	
(1)			
(2)	液 面 計	試験合格品 ・ 大臣認定品 方式 : _____	
(3)	過充填防止装置	試験合格品 ・ 大臣認定品	
(4)	カップリング用液流出 防止装置付き液取入弁	試験合格品 ・ 大臣認定品	
(5)	ガ ス 取 出 弁 及びガス放出防止器等	試験合格品・ 大臣認定品 ガス放出防止器・緊急遮断装置 (試験合格品・ 大臣認定品・ その他・ 無)	
(6)	液 取 出 弁 及びガス放出防止器等	試験合格品・ 大臣認定品 ガス放出防止器・緊急遮断装置 (試験合格品・ 大臣認定品・ その他・ 無)	
(7)	カップリング 付き均圧弁	有 (1 . 試験合格品・ 2 . 大臣認定品) ・ 無	
(8)	付属機器(1)~(7)の保護	プロテクター厚さ _____ mm	
(9)	警 戒 標	表示内容 : 液化石油ガス・LPガス・火気厳禁	施工後写真
(10)	緊急連絡先の表示	表示内容 :	施工後写真
(11)	腐食防止措置	1 . 錆止め塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μm 2 . 上塗り塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μm 3 . 電気防しよく措置 (地下貯槽) 有 (マグネシウム _____ kg × 本) ・ 無	施工時写真
(12)	支柱又はサドル等	支柱 ・ サドル ・ その他	施工後写真

設備工事 (バルク貯槽) 届書 (別紙 1 - 2)

3号 二 地 上 貯 槽	(1)	基 礎	地盤面からの高さ _____ cm	施工後写真
	(2)	車輛が接触しない措置	措置方法 :	施工後写真
	(3)	支柱又はサドル等の固定		施工後写真
	(4)	接 地	接続線の断面積 _____ mm ² 接続方法 : 接地棒の直径 _____ mm 長さ _____ mm	施工後写真
	(5)	安全弁放出管の設置	頂部からの高さ _____ cm	施工後写真
3号 水 地 下 貯 槽	(1)	頂部は地盤面下 30 cm以上	頂部埋設深さ _____ cm	施工図面・施工時写真
	(2)	埋 設 場 所 に 車 輛 乗 入 不 可 の 措 置	措置方法 :	施工後写真
	(3)	浮き上がり防止措置	バルク貯槽食空体総質量 _____ kg コンクリート板の質量 _____ kg バルク貯槽の全容積 _____ m ³ コンクリート板の容積 _____ m ³	基礎図面・施工時写真
	(4)	石塊等のない土砂の使用		施工時写真
	(5)	ガス検知用孔あき管設置	設置本数 _____ 本	位置図・施工時写真
	(6)	標 識 杭 の 設 置		位置図・施工時写真
	(7)	プロテクターのふた	不燃性断熱材の裏あて _____ mm	貯槽使用図面
3号 へ	2 m以内の火気をさえ ぎる措置及び屋外設置	敷地境界線までの距離 _____ m 措置方法 :	配置図(火気距離示す) 構造図・施工後写真	
4号	貯槽は漏洩がないこと	試験圧力 _____ MPa		
5号	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム 有 ・ 無 常時監視装置設置場所 住所 _____ 名称 _____	無の場合にあっては、 告示に定める要件に 適合する資料	
6号	貯槽と調整器の間の液状 化石油ガスの滞留防止	単段減圧式を ^ア 貯槽内・ 二段減圧式一体型を貯槽の直近・ 二段減圧式分離型の一次側を ^ア 貯槽内・ その他	施工後写真	
7号	規則第 18 条第 4 ~ 7号第 8号の 2 ~ 16号第 18 ~ 22号の基準	(別 紙 3)		
8号	供給管の耐圧試験	耐圧試験圧力 貯槽 ~ 調整器 _____ MPa 調整器 ~ メータ _____ MPa 一次調整器 ~ 二次調整器 _____ MPa		

設備工事 (バルク供給) 届書 (別紙 3)

2 供給状況等

高 圧 部	主な管の材料			
中・低圧部	露出部	主な管の材料		
	埋設部	主な管の材料	深 さ	m
	ピット	有 (図面に明記すること。) ・ 無		
供 給 状 況	調 整 器	自動切替式 (1.分離型・2.一体型) 二段減圧式 (1.分離型・2.一体型) 単段減圧式	能 力	kg/h
	メ ー タ ー	マイコン ・ S ・ SB ・ その他 (), _____ 号		
	ガス漏れ警報器連動遮断装置	有 ・ 無		
	対震自動ガス遮断装置	メーター内臓 ・ 感震器連動		
	ガス漏えい検知装置	有 (1.流量検知式・2.圧力検知式・3.流量検知式圧力監視型) ・ 無		
	気化装置 (添付書類)	有 (形式 _____, 能力 _____ kg/h) ・ 無 (認定書の写し)		
	消 火 器	能力単位 A - (), B - () 本数 () 本		

3 充てん設備に係る事項

項 目	対 応 事 項	添 付 書 類
充 て ん 事 業 者	名称 _____	
充 て ん 設 備 の 種 類	規則第 64 条第 1 項に基づく設備 (新 型) 規則第 64 条第 2 項に基づく設備 (従来型)	
車 輜 登 録 番 号	登録番号 _____	
貯蔵設備の記号及び番号	記号 _____ 番号 _____	
許可番号及び許可年月日	許可番号 _____ 許可年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
車 輜 停 車 位 置	第 1 種保安物件までの距離 _____ m 第 2 種保安物件までの距離 _____ m	

停車位置付近の図面

設備工事 (バルク供給) 届書 (別紙 4)

4 設備士等

設備士名		設備士免状番号	県
設備士再講習受講年月日	年 月 日		
ポリエチレン資格者氏名	資格番号		
配管用フレキ管資格者名	資格番号		
施工後の表示	有・無	施工完了年月日	年 月 日
工事業者連絡先電話番号			
販売事業者名・電話番号	有 () ・ 未定		

5 その他の添付書類

1	現地への案内図 (最寄り駅から所在地までが確認できるもの)
2	供給管の配管図
3	施工設備士の免状の写し (再講習受講記録、ポリエチレン管及びフレキ管資格を含む。)
4	気密試験結果 (自記圧力計の記録された用紙の写し) * 中圧部分がある場合は中圧部分の試験結果も必要